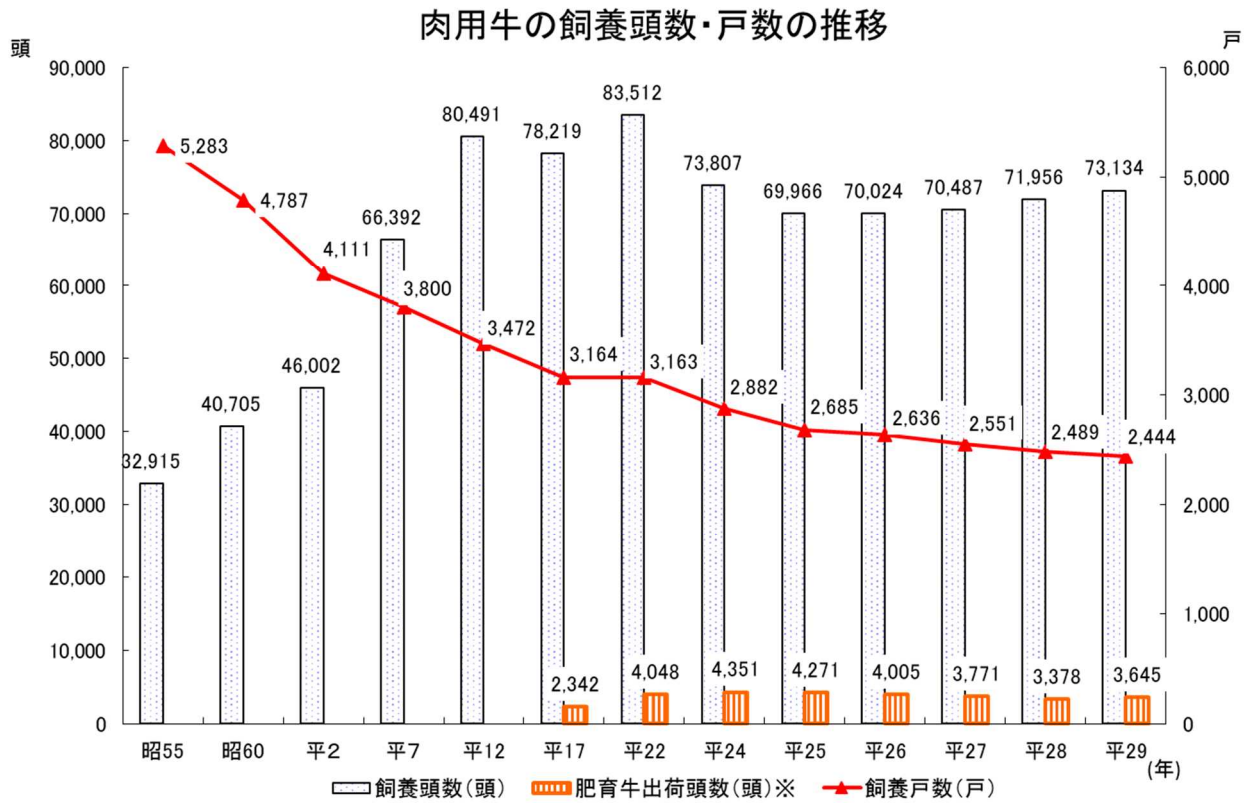


(1) 肉用牛

本県の肉用牛飼養頭数は、生産基盤の整備や、価格安定対策等諸施策の実施により、平成 26 年より僅かではあるが上昇に転じており、平成 28 年に前年比 1,467 頭の増加、平成 29 年に前年比 1,178 頭と 4 年連続の増加となり、完全に回復基調となっている。

また、飼養形態は繁殖経営が主体で、離島地域では放牧飼養による低コスト生産が実施されている。

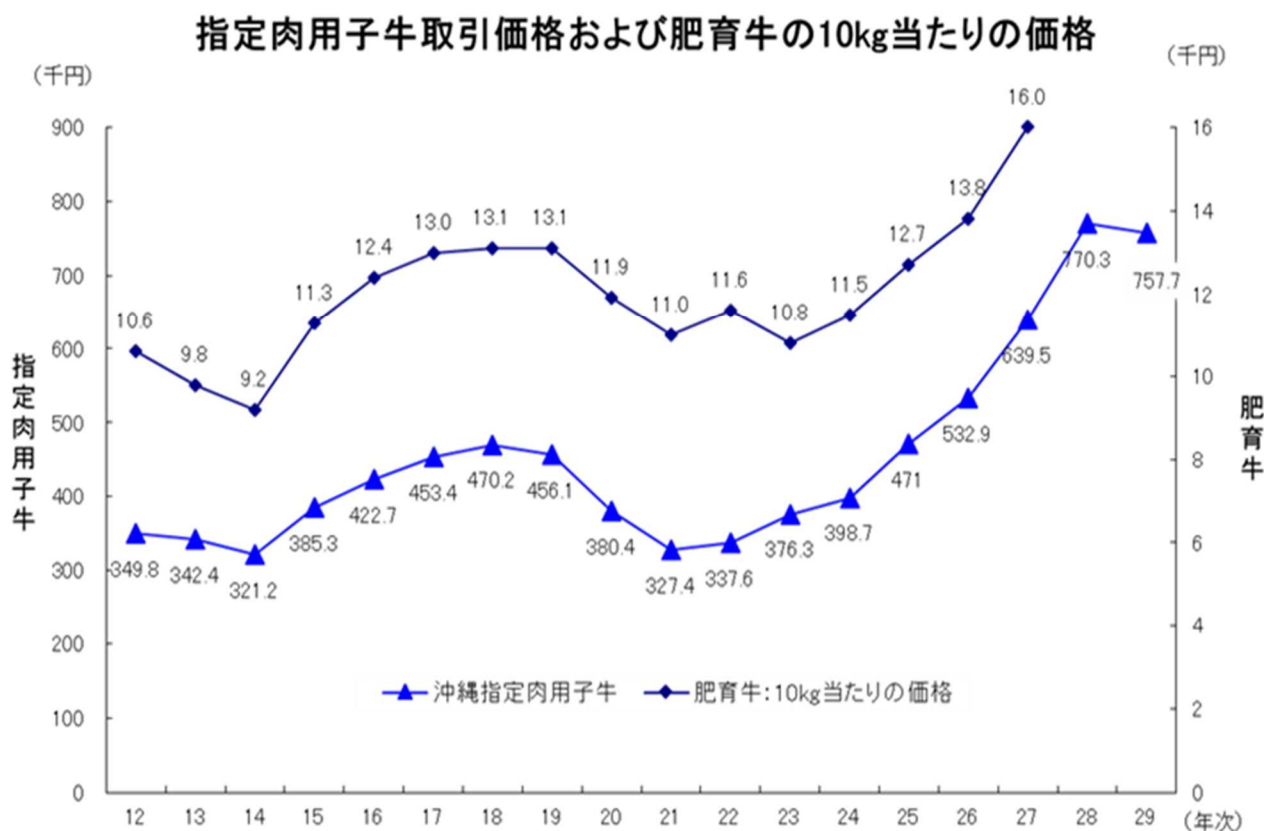
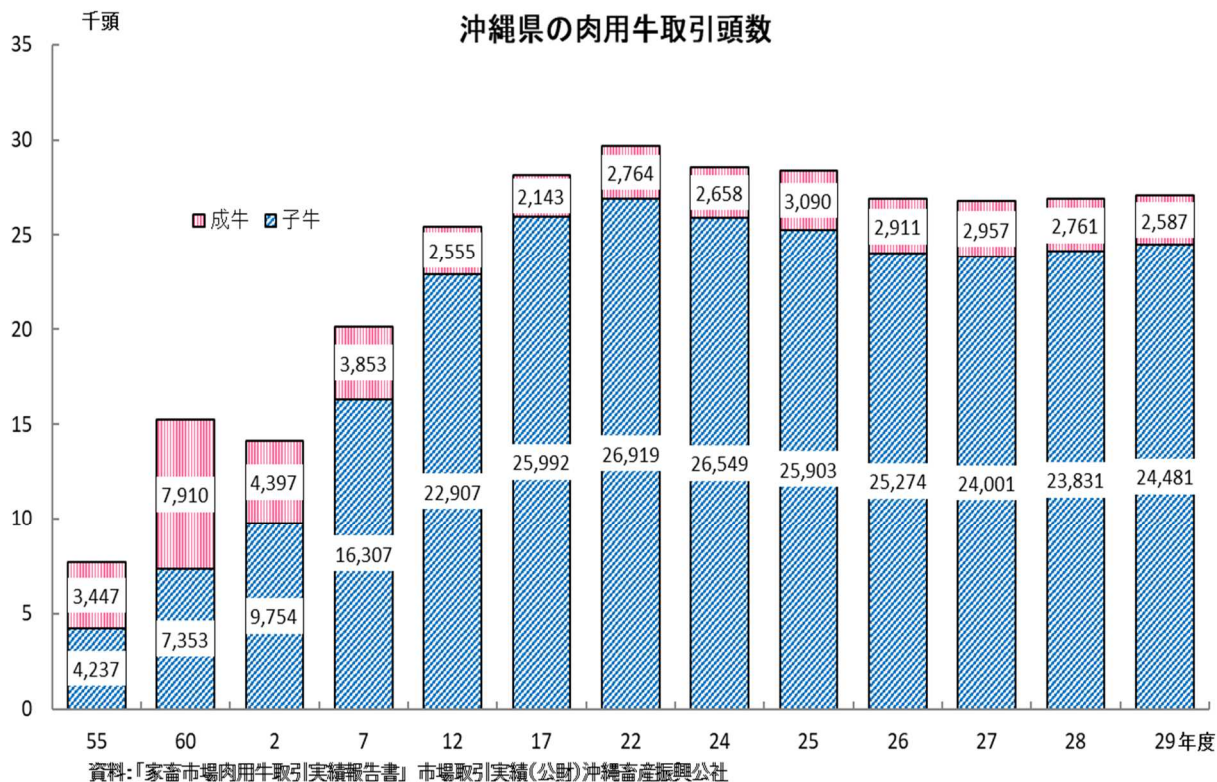


資料：「12月末家畜・家きん等の飼養状況調査」県畜産課 *肥育牛出荷頭数：(公社)日本食肉格付協会「牛枝肉格付情報」(H15~)

【第 11 回全国和牛能力共進会】

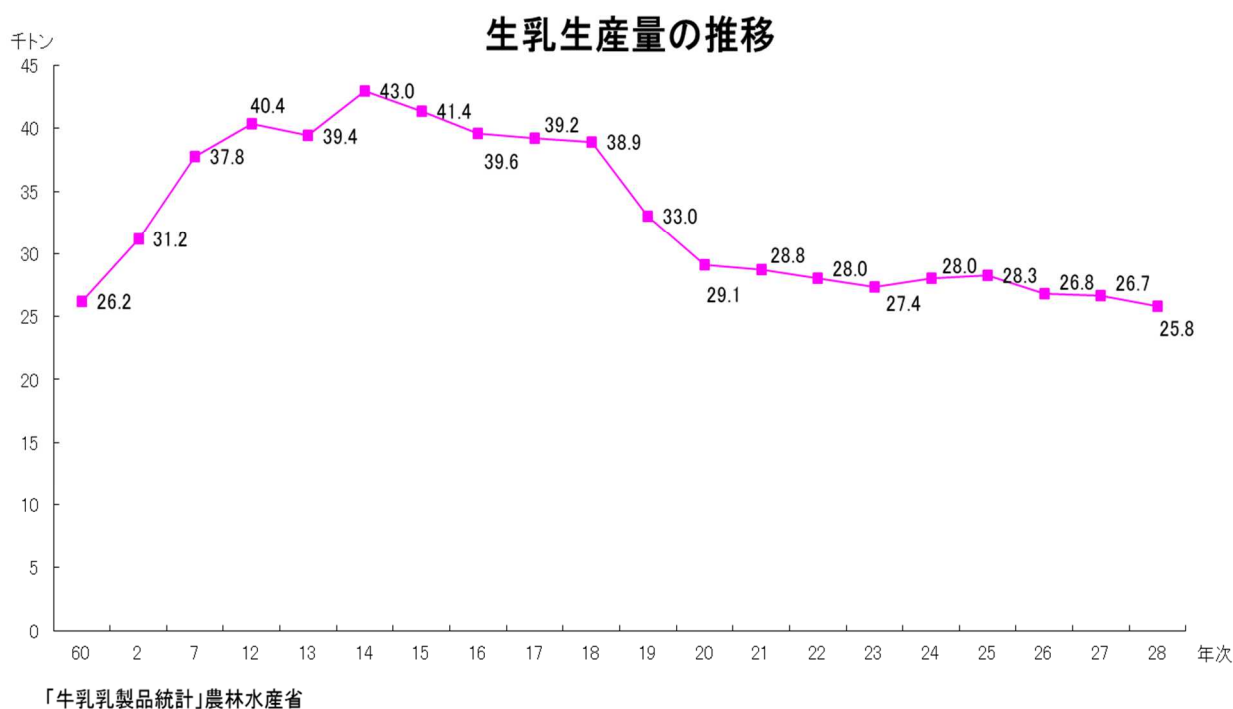
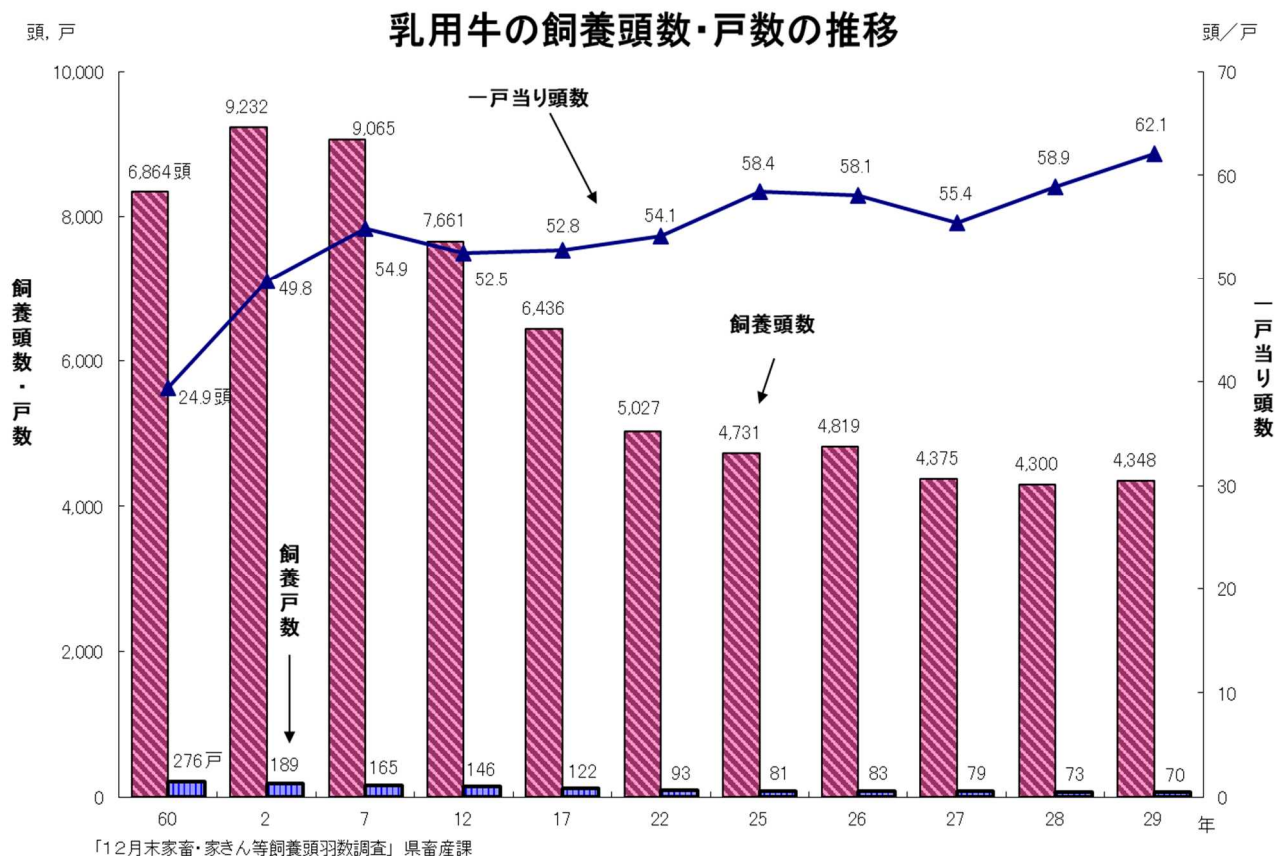


第 11 回全国和牛能力共進会副知事報告会



(2) 酪農

本県の酪農は、全国的な消費の低迷、飼料価格の高騰などにより、飼養戸数、飼養頭数ともに減少傾向で推移していましたが、県外からの導入に頼るのではなく、県内にある家畜改良センターに育成牛を預けて県内育成に力を入れたことにより、3年ぶりに増頭になっております。



牛乳需給状況の推移

項目	年次(1~12月)	平成8年	13年	18年	23年	25年	26年	27年	28年	29年		
県	生乳生産量(t)A	37,221	41,367	34,724	27,360	28,281	26,797	26,682	25,812	24,758		
	生乳移入量(t)	259	199	825	683	323	389	935	833	782		
	生乳移出量(t)	11	1,481	1,271	51	99	154	101	68	32		
	用途別処理量(t)	飲用牛乳向け	35,515	38,621	32,798	27,560	28,709	26,934	27,396	26,475	25,440	
		乳製品向け	1,939	1,378	1,344	345	7	2	2	2	0	
		その他	15	86	136	120	129	114	118	100	68	
		処理量計	37,469	40,085	34,278	28,025	28,845	27,050	27,516	26,577	25,508	
	飲用牛乳生産量(kl)	牛乳	一般向け	25,404	23,181	20,243	15,801	17,142	16,257	16,707	15,822	15,298
			学校給食		6,769	6,522	6,707	6,725	6,598	6,554	6,534	6,493
			小計	25,404	29,950	26,765	22,508	23,867	22,855	23,261	22,356	21,791
		加工乳	一般向け	11,822	11,850	9,866	8,257	6,323	5,893	5,887	5,915	5,817
			学校給食	7,788	376	0	0	0	0	0	76	109
			小計	19,610	12,226	9,866	8,257	6,323	5,893	5,887	5,991	5,926
		合計	45,014	42,176	36,631	30,765	30,190	28,748	29,148	28,347	27,717	
	移入量(kl)	314	415	388	830	861	833	823	862	988		
消費量(kl)B	45,328	42,591	37,019	31,595	31,051	29,581	29,971	29,209	28,705			
生乳自給率 A/(B×比重:1.031)	79.6%	94.2%	91.0%	84.0%	88.3%	87.9%	86.3%	85.7%	83.7%			
乳飲料生産量(kl)	6,084	6,474	8,858	8,705	11,333	11,058	10,741	10,201	10,750			
1人当たり飲用牛乳消費量(l)	35.3	32.0	27.0	22.8	21.9	20.7	20.9	20.2	19.8			
全国	生乳生産量(t)	8,656,929	8,301,523	8,133,907	7,473,607	7,454,201	7,334,496	7,379,224	7,393,715	7,280,873		
	用途別処理量(t)	飲用牛乳向け	5,186,482	4,941,499	4,645,366	4,057,612	3,974,328	3,910,995	3,932,865	3,991,814	3,979,341	
		乳製品向け	3,351,084	3,266,285	3,407,370	3,350,651	3,476,590	3,364,698	3,389,816	3,349,245	3,251,921	
		その他	119,363	92,686	81,171	65,344	57,283	58,903	56,543	52,656	49,611	
		処理量計	8,656,929	8,300,470	8,133,907	7,473,607	7,508,201	7,334,596	7,379,224	7,393,715	7,280,873	
	飲用牛乳生産量(kl)	牛乳	4,222,023	3,875,298	3,702,308	3,062,688	3,030,542	2,988,641	3,005,470	3,049,421	3,088,740	
		加工乳	826,717	575,604	439,135	588,636	475,829	467,288	450,727	441,271	440,078	
		合計(消費量)	5,048,740	4,450,902	4,141,443	3,651,324	3,506,371	3,455,929	3,456,197	3,490,692	3,528,818	
	飲用牛乳等生産量(kl)	乳飲料生産量(kl)	1,027,759	1,231,267	1,244,009	1,275,825	1,366,426	1,330,001	1,305,241	1,236,298	1,177,231	
		発酵乳生産量(kl)	534,931	685,281	838,833	65,246	1,809,038	1,000,391	1,051,077	1,104,913	1,076,039	
		乳酸菌飲料生産量(kl)	207,582	176,085	166,446	12,953	157,298	143,316	148,340	140,011	128,721	
1人当たり飲用牛乳消費量(l)	40.1	35.0	32.4	28.6	27.5	27.2	27.2	27.5	27.9			

(注1) 飲用牛乳の消費量には、加工乳も含まれる。

(注2) 値は農林水産省「牛乳乳製品統計」から転記。飲用牛乳1人当たり消費量については、平成19年までは「日刊酪農乳業速報」より、

平成20年以降は12月1日付県推計人口数で除した数値

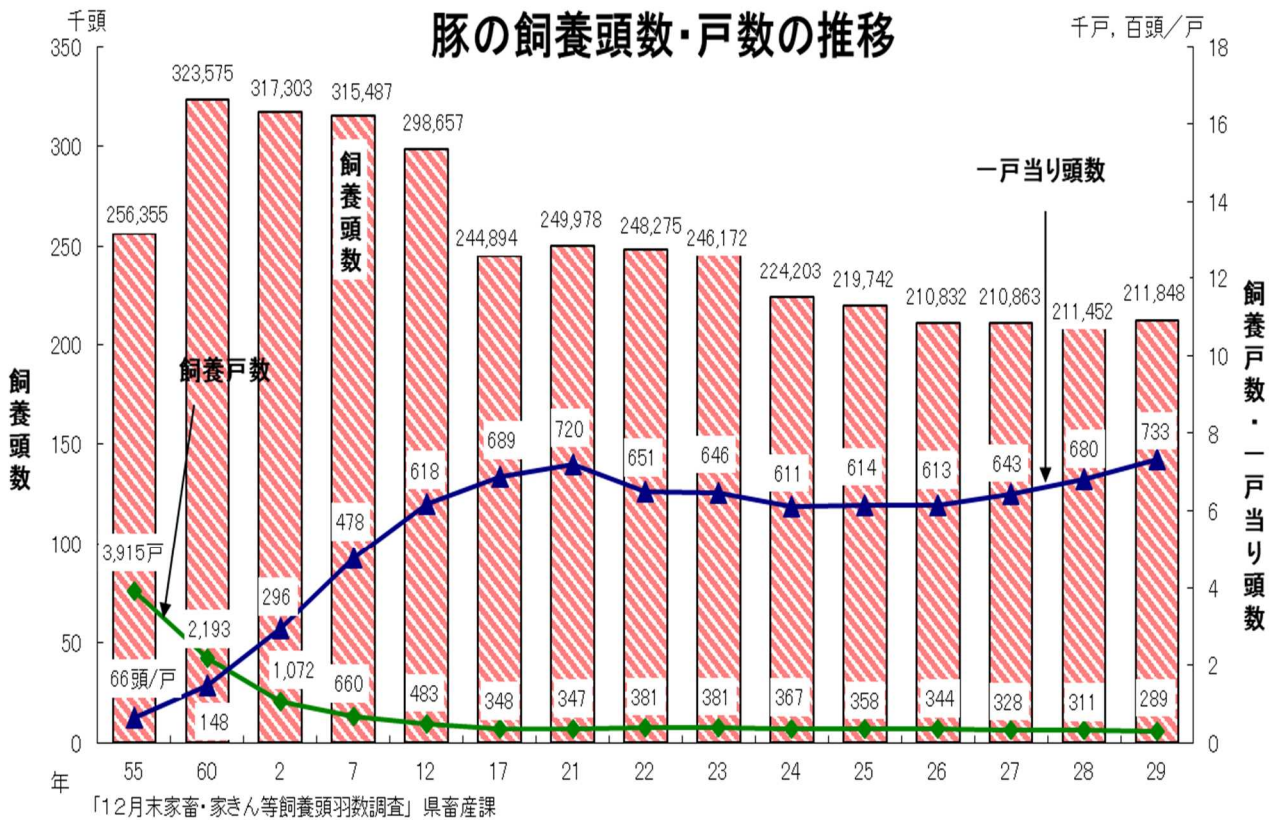


(3) 養豚

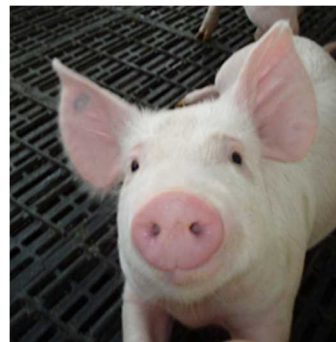
本県の豚の飼養頭数は、環境問題、担い手不足等の諸問題から、飼養戸数および頭数が平成27年度までは減少傾向で推移していたが、現在は微増であるが上昇に転じ始めている。

さらに飼料価格の高騰や、食に対する消費者意識の高まり等に対応するため、生産性が高く、安全で高品質な県産豚肉の生産が求められている。

そのため、沖縄県では、平成30年度から新たに「おきなわブランド豚増頭体制確立事業」を実施し、抗病性機能を有する次世代ランドレースを作出し、県外大ヨークシャーとの交配による生産性の高い高能力繁殖母豚（次世代LW）の供給体制の確立に取組み、1母豚あたりの肉豚生産頭数の増頭を図っている。

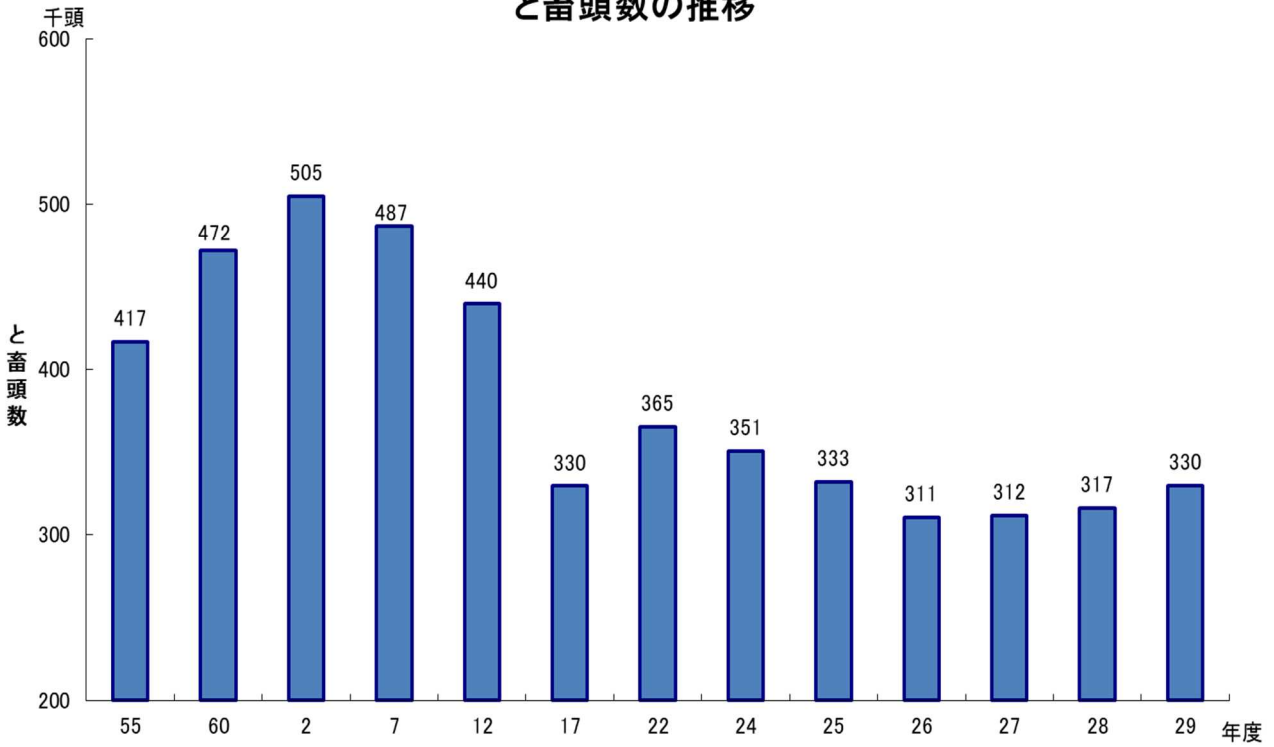


沖縄アグー豚



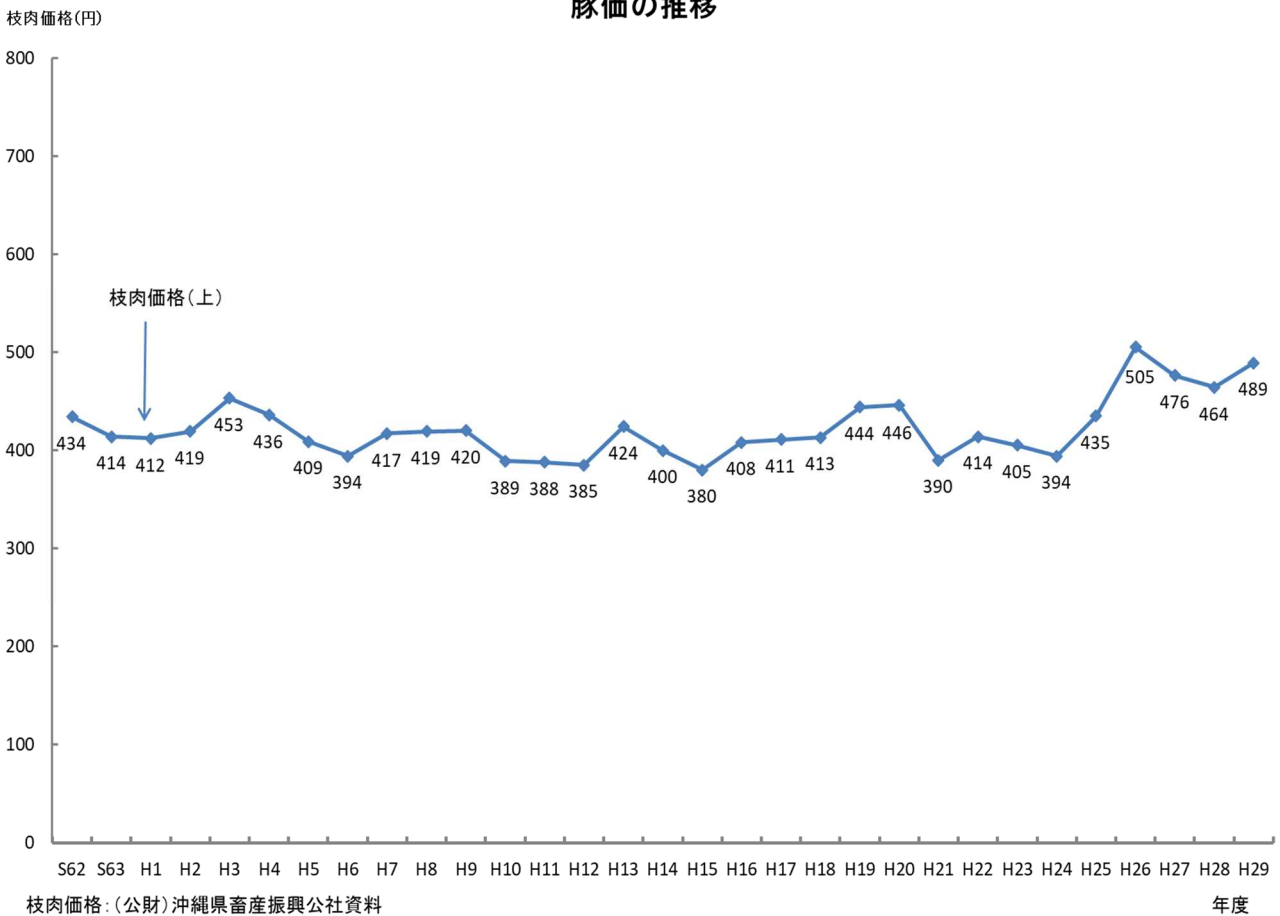
おきなわアイランド

と畜頭数の推移



と畜頭数：沖縄県保健医療部 衛生業務課

豚価の推移



枝肉価格：(公財)沖縄県畜産振興公社資料

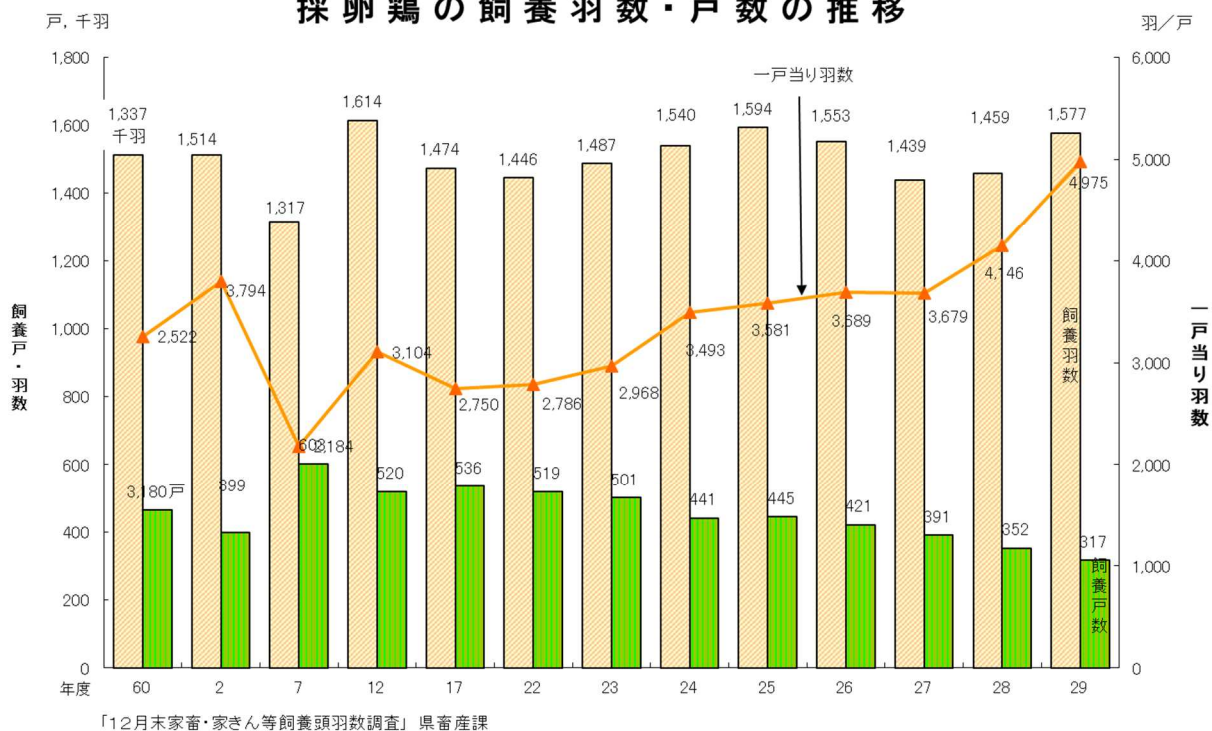
年度

(4) 養鶏

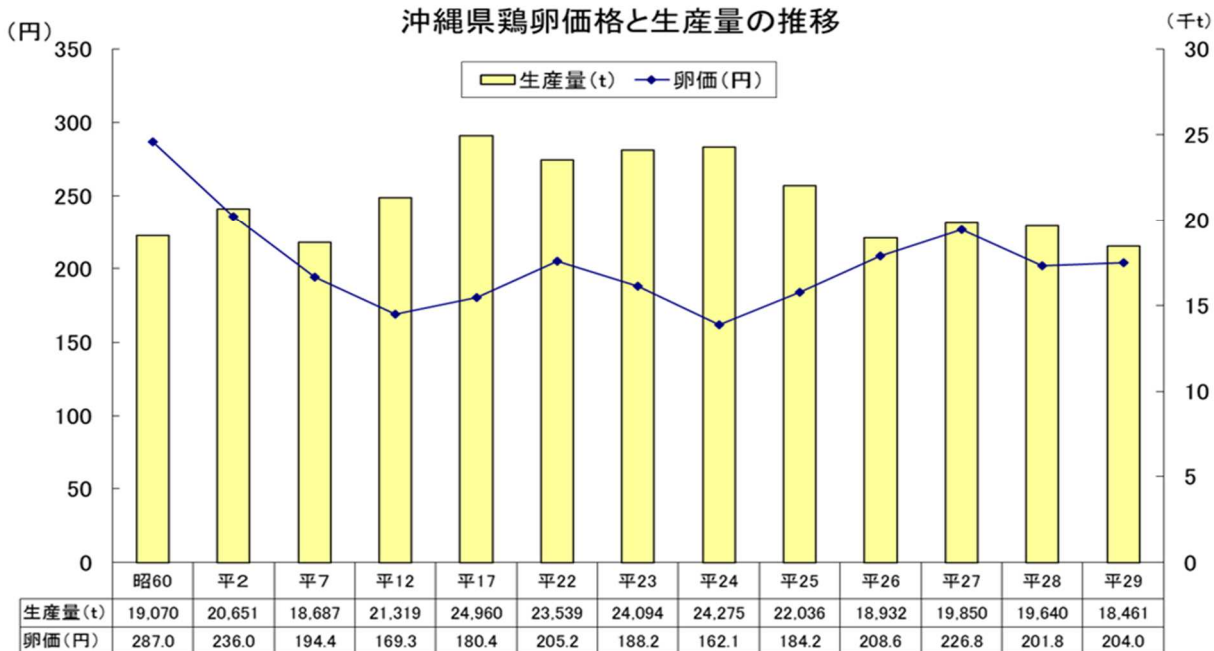
近年、採卵鶏の飼養戸数は減少しているが、飼養羽数は安定しており、鶏卵の生産量は、約20,000tで、安定した供給体制が図られている。

沖縄県養鶏協会は、県産たまごの消費拡大促進と養鶏農家の経営安定を図るため、8月9日を「エッグの日」として制定し、県産たまごの消費拡大イベントを行っている。

採卵鶏の飼養羽数・戸数の推移



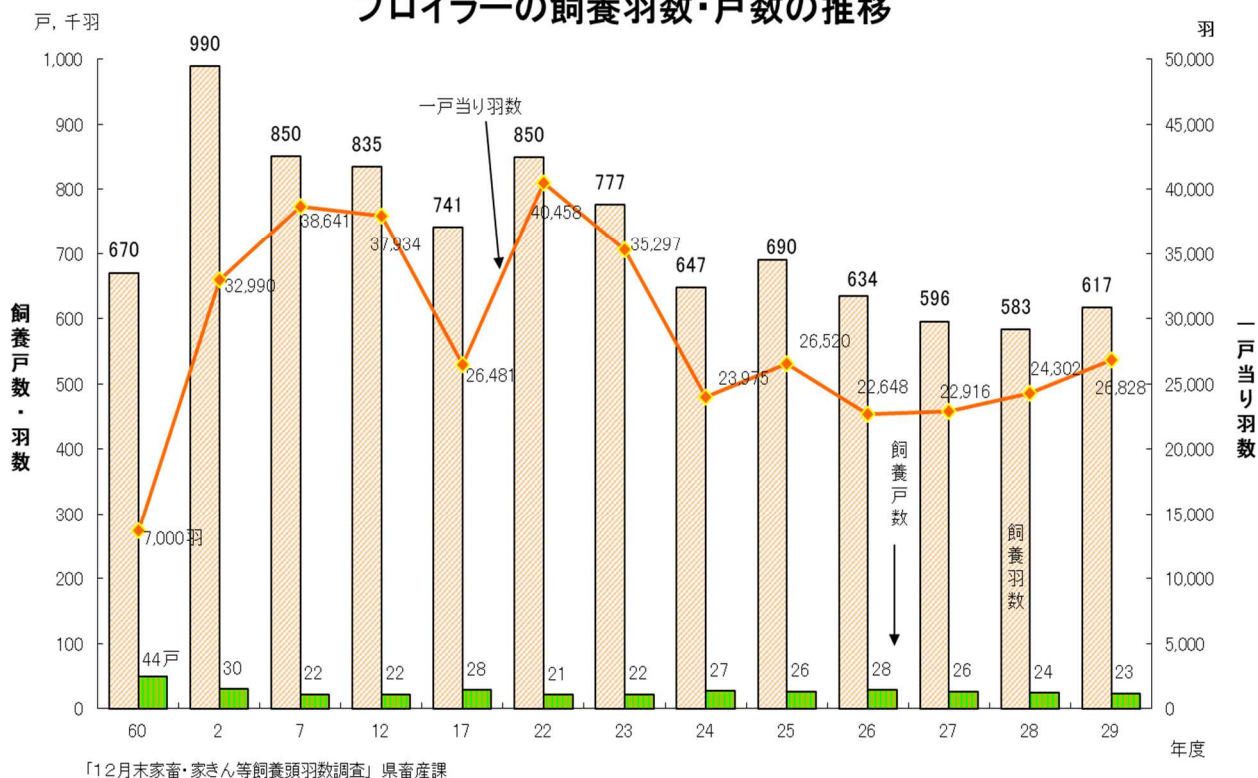
沖縄県鶏卵価格と生産量の推移



鶏卵価格：(公財)沖縄県畜産振興公社(H23まで) JAおきなわ調べ(H24～) 生産量：畜産物流通統計 (年次)

ブロイラーは、主に沖縄本島北部地域で生産されており、県全体で約 60 万羽が飼養されている。また、生産した鶏肉は、ほとんどが県内向けに出荷されている。

ブロイラーの飼養羽数・戸数の推移



ブロイラー出荷状況

